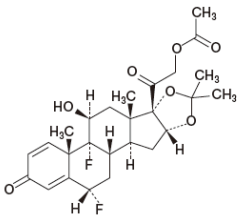
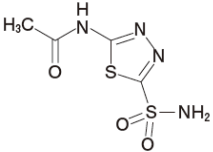
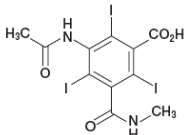
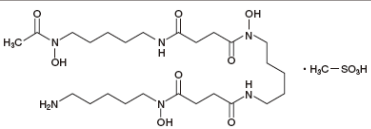
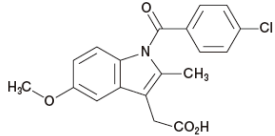


# 104-92

## 問題文

日本薬局方で確認試験が適用される対象医薬品、操作、及びその結果の組合せのうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

	対象医薬品	操作	結果
1		本品を規定に従って分解し、その溶液をクロム酸・硫酸試液に加えて加熱する	液は試験管の内壁を一様にぬらさない
2		本品に粒状の亜鉛及び薄めた塩酸を加え、発生するガスに潤した酢酸鉛（Ⅱ）紙をかざす	試験紙は黒変する
3		本品を直火で加熱する	黄色のガスを発生する
4		本品の水溶液に塩化鉄（Ⅲ）試液を加える	青色沈殿を生じる
5		本品に炎色反応試験(2)を行う	黄色を呈する

## 解答

1, 2

## 解説

選択肢 1 は妥当な記述です。  
対象医薬品はフルオシノニド（トプシム軟膏）です。ステロイド軟膏です。F を定性する確認試験です。試験管内壁（ガラス）が溶けるせいで内壁を一様にぬらさなくなります。

選択肢 2 は妥当な記述です。

対象医薬品はアセタゾラミド（ダイアモックス）です。炭酸脱水酵素阻害薬です。酢酸鉛紙を用いて、硫化物イオンを検出します。PbS が黒色沈殿です。

選択肢 3 ですが

対象医薬品はイオタラム酸です。（ちなみに、イオタラム酸メグルミン→商品名コンレイは、販売中止になった医薬品です。）ヨウ素を定性する確認試験と考えられるため、ガスは「紫色」です。ヨウ素→紫色は基本知識です。「黄色」ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

対象医薬品はデフェロキサミンメシル酸（デスフェラル）です。「デフェロ」から読み取れるように鉄排泄剤です。ヒドロキサム酸構造（対象医薬品の左上部分）を定性します。赤～紫色になるため「青色」ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

対象医薬品はインドメタシンです。塩素を定性します。「フッ素ではないハロゲンの炎色反応」なのでバイルシュタイン試験を連想します。色は緑～青緑です。「黄色」ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。